

2023年2月13日

逗子市

2050年カーボンニュートラルに向けた取組みとして

- ・ 公用車を活用したE Vカーシェアを開始します。
- ・ 再エネ100宣言RE Actionに参加します。

➤ 「公用車を活用したE Vカーシェア導入」について

本市では、昨年1月31日に「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」を宣言し、令和4年度から地域脱炭素に向けた取組みの充実、強化を図っています。この度開始する「公用車を活用したE Vカーシェア」は、電気自動車（E V）を新規導入し、平日は公用車として使用し、土日などの休日は地域住民等へのシェアリングを行うことで、電気自動車の普及促進及び移動の脱炭素化を図るものです。

現在、市庁舎は再生可能エネルギー100%電気を導入しているため、走行時のCO2排出量がゼロのドライブ「ゼロカーボンドライブ」を実現することになります。

公共交通機関の利用促進とともに、自家用車に頼らずとも生活できる環境づくりに向け、効率的な自動車利用を推進し、更には動く蓄電池として災害等の緊急時に活用していきます。

- ・ 開始日 : 2023年（令和5年）2月13日（月）
- ・ 車種 : 日産自動車 LEAF X
- ・ 場所 : 逗子市役所（逗子市逗子5-2-16） 地下1階駐車場
- ・ 利用方法 : 「逗子市EVカーシェア」WEBサイトから会員登録後、スマートフォンから専用アプリ「みんなのカーシェア」をダウンロードします。車両の予約～解錠・施錠～返却及び決済までをスマートフォンのアプリ「みんなのカーシェア」で行います。サービスインにあわせて2月13日にWEBサイトを公開します。

※ 開始日（2月13日）の午後2時30分より、逗子市役所にてE Vカーシェア開始式を行います。

※ 本件は、コスモ石油マーケティング株式会社においてもプレスリリースを行う予定です。
<https://com.cosmo-oil.co.jp/press/index.html>

➤ 「再エネ100宣言RE Actionへの参加」について

企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する枠組み「再エネ100宣言RE Action」に神奈川県内の市町村としてアンバサダー以外では初めて参加します。

2050年カーボンニュートラル達成に向け、再生可能エネルギー需要家の裾野を拡大するため、地方自治体と民間企業の垣根を超えた連携・連帯と分野を横断した創意工夫に意欲的に取り組んでいきます。

※ 令和5年2月時点において16施設（市施設全体の使用量の約73%）で再生可能エネルギー100%電気を導入しています。

※ 「再エネ100宣言RE Action」は、グリーン購入ネットワーク（GPN）、イクレイ日本（ICLEI）、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）、日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（JNCCA）から構成される再エネ100宣言RE Action協議会が主催するものです。

本件に関するお問い合わせ先：

環境都市部環境都市課 青柳・坂本
電話：046-873-1111 内線451